

<p>交流ニュース 第48号 2008年12月</p>	 <p>フレスター Friendly Star</p>	<p>学園&地域交流ネットワーク 八幡西区北鷹見町13-10 http://friestar.com friestar_news@yahoo.co.jp</p>
-------------------------------------	---	---

ゆめ広場にて「ありがとう！折尾駅舎・絵画展」を開催中

11月8日から「ゆめ広場」で、『ありがとう！折尾駅舎』に応募された作品を展示しています。「折尾西子供会」の皆さんが描かれた絵や写真、俳句や短歌など、どれも「折尾駅」への想いが伝わってきます。

折尾駅舎は来年の秋に解体が予定されていますので、折尾駅舎を飾るイルミネーションが見られるのは今回が最後になります。

(イルミネーションの点灯：平成20年1月15日まで)

皆さんの心の中に、折尾駅舎を刻み込んでください。また、折尾駅の思い出や想い等、「ありがとう！折尾駅舎」にお寄せください。よろしくお願い致します。

作品募集は、年内(平成20年)まで随時受け付けています。

折尾駅舎・堀川運河を保存する会

〒807-0825 北九州市八幡西区折尾4-10-1 FAX 691-0686

「高齢者疑似体験・体験学習」のお手伝いとして参加

11月15日(土)、愛真高校の福祉コースの学習体験として約60名の生徒が「高齢者疑似体験」をしました。学園&地域交流ネットワークから8名がそのお手伝いとして参加しました。

一時的に高齢者が体験できるように、手首・足首・胴体に重りを着け筋肉が弱った様を、また膝や肘が曲がり難いようにし、筋肉が硬くなった様を、ヘッドフォンをつけ音の聞こえづらさを、目にゴーグルをつけ、白内障や老眼での見えづらさを体験してもらいました。

装具を身に着けた状態で、新聞を読む・お箸で豆をつかみ別のお皿に入れる・周辺を杖をついて歩くなどの動作をしました。

思っていた以上に大変だったようで、装具が外れると、みなさんほっとされていました。体験後の感想で、新聞の小さい字は見づらいので少し大きくした方がいい・色もコントラストがはっきりした方がいい・お箸も端先に滑り止めがあったほうがいいなどの提案が出てました。

また、私たちはこの装具を外せば健常な身体になるけれど、高齢者は外すことができないし、このようにして動作が鈍くなることも体感として理解できたので、高齢者への心遣いとして、「ゆっくりいいですよ」や「何かお手伝いしましょうか」の言葉かけや、温かい気持ちでの見守りが必要だということがわかったと言われていました。

このような気持の高校生が折尾の街で育っていることを知り、嬉しくなりました。

